

放課後子ども教室だよ

国見っ子わんぱく広場

令和5年8月3日(木)訪問

「国見っ子わんぱく広場」では、8月3日(木)、4日(金)の二日間に渡って「夏祭り」が行われました。

「夏祭り」は毎年、社会福祉協議会与連携し、地域の「寿クラブ連合会」の協力を得て行っています。射的、お菓子釣り、プラズマカー、釣りっこゲーム、くじ引き、綿あめ、缶バッジ製作等、様々な活動で地域のお年寄り子どもたちが触れあう姿がみられました。

また、当日は大学生もボランティアとして参加していました。福島大学のボランティア説明会において、その場でLINE登録をした学生に、ボランティア募集のお知らせをし、参加可能な学生に手伝ってもらうようにしているそうです。ボランティアスタッフの高齢化が課題となっている「放課後子ども教室」ですが、LINEを活用することで、大学生が気軽にボランティアとして参加しやすい体制を整えているところが素晴らしいですね!



社会福祉協議会

お年寄り子どもたちの世代間交流を目的に行っています。お年寄りのみなさんが、子どもたちとかかわってイキイキしている姿を見られるのは嬉しいです。

なかなかない機会なので、子どもたちと一緒に遊ぶのがとても楽しいです。



寿クラブ連合会



地域学校協働活動スタッフ

子どもたちが喜んでくれるのが嬉しいのはもちろん、成長した子どもたちの姿を見るのも楽しみです。



教員を目指しています。ボランティアをして教員になりたいという気持ちが強くなりました!



大学生ボランティア

「学校ではできないことができる。」
「これまでにない体験ができて楽しい。」
「いろいろな学年と仲良くできる。」



子どもたち

「スタッフの人と仲良くなれた。」
「作っているときにスタッフの人が褒めてくれて嬉しかった。」

様々な体験活動

コミュニケーション能力の向上

自己肯定感の向上

豊かな心の育成

放課後子ども教室では、様々な関係機関と連携することがとても大切です。関係機関との連携で重要な役割を果たしているのは放課後支援コーディネーターです。「国見っ子わんぱく広場」では、子どもたちが地域のお年寄りや、様々な活動をする大人に遊び方を教えてもらったり、会話を楽しんだりと触れあう姿が多く見られました。また、活動に参加するスタッフや、お年寄りなど、地域の大人も子どもたちとの活動を楽しんでいる姿も印象的でした。